

タンネウシ12月号

しれとこライブラリーの最新巻が販売開始！

ライブラリーの6巻目になる「知床の植物1」が本屋に並びだしました。この巻は高山植物を中心に知床に深く関わってきた植物研究者の皆さんに執筆頂きました。なかでも鮫島惇一郎氏による1950年代の知床調査の様子は豊富な写真とともに貴重な記録、必見です。

1890円（税込）、北海道新聞社より発行、一般書店で購入・注文できます。博物館でも扱っています。

ISBN 4-89453-334-0

目次

「羅臼岳」 石川幸男（専修大学北海道短期大学教授）

「知床硫黄山とシレトコスミレ」

植木玲一（北海道斜里高等学校教諭）

「羅臼湖」 浅沼孝夫（知床在住）

「シダ植物が魅せる知床半島」

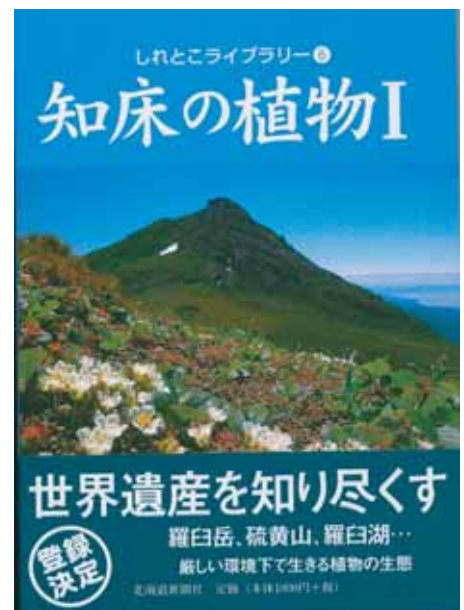
佐藤利幸（信州大学教授）

「知床の植物」佐藤謙（北海学園大学教授）

「高山植物」 佐藤謙

「保護への提言」 佐藤謙

「知床岳と知床岬」 鮫島惇一郎（自然環境研究室主宰）



知床博物館第27回特別展

『世界遺産・知床』

12/24まで開催延長！

知床は世界自然遺産に登録されました。その理由の一つが生物多様性です。南方系と北方系両方の生物が見られ絶滅危惧種の生物も多く生息しています。知床の多様性を展示物から感じて下さい。

期間：12月4日までの予定でしたが、好評につき12月24日（土）まで開催延長されました。

通常の観覧料でご覧になれます。

（70才以上の町民は、

12月24日まで入館が無料です）

【展示内容】

- 世界自然遺産とは
- なぜ知床が世界遺産に登録されたか
- 多様な知床の生物
 - 北方系と南方系、絶滅危惧種
- 特異な知床の生態系
- 知床のたどった道
- 知床の課題と解決に向けて

12月の行事

恒例「餅つき大会」12月28日（水）10:00～博物館は、昭和53年の12月28日に開館しました。それを記念しての餅つき大会です。

尚、今年はゲームや見学会などはいりませんのであらかじめご了承下さい。

トピックス ● 知床博物館生まれのオオワシが、埼玉県東武動物公園に嫁入りしました ● 慣れない都会暮らしですが、元気なようです ● 次号で元気な姿を写真でご紹介できればと思います ● 旅行者の少ない時期ですが、子どもたちが授業で見学に来ています ● ウトロ小学校には半袖姿が数人いて、さすが知床！ ● 植物サークルのカレンダーは、好評のうちに完売しました ● 新聞やテレビでご存じかと思いますが、ウトロの発掘現場では珍しい出土品や発見があるようです ● 発掘調査の内容は、あらためてご報告します ● 観察会にあわせるようにオオワシの渡りが見られるようになりました ● 11/17には博物館上空を多数通過（窓からオオワシが見られる！） ● 次回は新年号、来年も面白情報をご紹介します ● よいお年を。（ひら）